

JD 共済

No.56

発行日 平成29年11月9日

〒939-8072 富山県富山市堀川町278
ジェイ・ディ共済協同組合

TEL.076-421-2221 (大代表)
FAX.076-425-9561
URL <http://www.jd-kyosai.com>
E-mail info@jd-kyosai.com

静岡県御殿場市で「御殿場運転代行連絡会」が発足しました 御殿場運転代行連絡会発足式に、丹澤理事長が協会会長として臨席



7月18日(火)に、御殿場市名鉄菜館において、「御殿場から飲酒運転を根絶する」をスローガンとして「御殿場運転代行連絡会発足式」が開催され、

当共済の丹澤理事長が公益社団法人全国運転代行協会(以下「協会」)会長として招かれました。冒頭、同連絡会の高瀬朋宏会長(運転代行レインボー代表)から、「飲酒運転根絶の受け皿である運転代行業を、社会に認めてもらうことが私たちの生きる道であり、私たちは商売敵ではなく、『同業者=仲間』という意識で、業界の最新情報を学び、法令を順守して、社会に貢献していきましょう」と、開会の挨拶がありました。

続いて、来賓の滝口達也・御殿場市副市長から、「代行事業者自らが、このような会を発足されたことは素晴らしいことであり、とても意義深いことです。市長も連絡会の事業者様の心意気に感銘しております。今後は、行政とともに



にこの『御殿場から飲酒運転を根絶する』というテーマを進めていきましょう」と、心強い後押しの言葉がありました。また、清水能弘・御殿場警察署交通課係長からは、静岡県および御殿場市の事故状況とともに、代行業務中に起こりうる事故の回避行動のポイントについてのアドバイスがあり、地域の交通サービスとして、交通安全に努める自覚を促されました。

引き続き、当共済・丹澤理事長は協会会長として、業界の歴史と今後の展望など8項目について講演を行った後、「御殿場運転代行連絡会の発足を機に、御殿場から飲酒運転がなくなるように、そして、皆さんの業が成り立つように、皆さんが仲間として心をひとつにし、胸を張って多くの方々に利用していただきましょう!」と、力強い言葉で激励しました。また、山本勝也協会支部長(運転代行桃太郎代表)は、「現在山積している業界の問題を解決し、業界の健全化を進めるためには、私たち業者が力を合わせることが必要不可欠ですので、これからは、ともに取り組んでいきましょう」と、協力体制を呼び掛け、田辺喜義副会長(株式会社アクティブ社長)が「今日のこの発足式は非常に意義ある一歩であり、スタートです。これから、飲酒運転根絶と業界の健全化、そして私たちの事業発展のために、一致団結して進んでいきましょう」と締めくくりました。

【公益社団法人全国運転代行協会・丹澤会長の8つの講演内容】

- | | |
|-----------------------|---|
| ①運転代行業の歴史 | ⑤労働基準法に基づく従業員の雇用 |
| ②運転代行業法施行の意義 | ⑥適正な納税 |
| ③順法意識の低下と業界健全化における問題点 | ⑦行政による立入検査の実施 |
| ④損害賠償措置の義務付けの徹底 | ⑧業界健全化の一環として同協会が取り組んでいる官民一体の違反者通報制度について |

講演の詳しい内容をお知りになりたい方は、各地で開催される講習会に是非ご参加ください。

業界全国初!**運転代行業界主催の「運転代行祭り」が開催されました**

秋の全国交通安全運動期間直前の9月9日(土)、秋晴れの空の下(公社)全国運転代行協会山梨県支部と山梨運転代行協会が主催する、「第1回山梨運転代行祭り」が甲府地方卸売市場で開催されました。運転代行業者の団体が主催するイベントは全国的にも初めての試みで、メディアからたくさんの取材を受け、山梨県警察本部の方からも「飲酒運転の受け皿である代行業者が、業界を挙げてこのようなイベントを実施してもらえるのは大変ありがたい。ぜひ続けてほしい」と激励の言葉をいただきました。JD共済では、おためし書道を企画し、また、展示用「SDD全国こども書道コンクール」応募作品、飲酒運転根絶のぼり旗などを貸し出すなどして、イベントを盛り上げました。

**秋の全国交通安全運動期間中、各地の啓発活動に運転代行業界とJD共済が参加しました**

平成29年9月21日(木)から30日(土)まで
～9月30日は交通事故死ゼロを目指す日～

今年は、全国重点4項目に加え、重大事故の原因となる飲酒運転による悲惨な交通事故が依然として後を絶たないことから、「飲酒運転」が交通安全運動の重点趣旨として挙げられました。

《富山県》 富山南警察署 秋の交通安全運動期間出発式

9月18日敬老の日に、富山市の富山南警察署で秋の交通安全運動出発式が行われ、JD共済がSDD全国こども書道コンクールの応募作品展示とチラシ提供で参加協力しました。

同署交通課からJD共済に啓発活動協力の依頼があり実現したもので、出発式は、台風が富山県を通過した直後ということもあり、時折激しい雨音に、声がよく聞き取れないほどのあいにくの天候のなか、同署3階の講堂で行われました。この日の参加者は、富山南警察署員、県警察本部交通機動隊のほか、関係8団体から約



100名が参加しました。地元保育所の園児も子ども警察官として、富山南警察署長に交通安全メッセージを読み上げ、老人クラブからは代表者2名が「管内で老人の事故が多いこと」に触れ、地域の交通安全に努めることを宣言しました。富山県内での、交通安全運動期間中の書道作品を展示した啓発は同署が初めてであり、署員や交通指導員の方々も会場入り口に並べられた子どもたちの作品を前に「全部子どもが書いたの?」と驚いた様子で、書道作品に見入っていました。このあと、参加者全員で同署前を走る、国道

**《滋賀県》 ピエリ守山 交通安全フェア**

9月24日(日)、守山市のショッピングセンター「ピエリ守山」で、毎年恒例となった交通安全フェアが開催され、今年も公益社団法人全国運転代行協会滋賀県支部に加入している事業者から7社15名が参加して、来場者に向けて飲酒運転根絶を訴えました。これも毎回恒例となった「おためし書道」と書道コンクール応募作品展を実施し、訪れた多くの家族連れが、親子で書道を楽しみながら、交通安全について考えてくれました。



山梨県・滋賀県でそれぞれ実施された「おためし書道」参加者の書道作品の一部
大人もお子さんと一緒に楽しみました

《北海道》 小樽市 飲酒運転の根絶に向けた「交通安全パレード」

9月26日、小樽市内において、JD共済を含めた20団体約200人が参加して、恒例の交通安全パレードが行われました。パレードは小樽郵便局と小樽警察署が合同で実施したもので、小樽郵便局の赤い車両(バイク、軽四、収集車、チルド車、2トンおよび4トントラック)全66台の車体に、こども書道コンクールに応募された作品の中から選ばれた53作品を貼り、市内全域を走りました。一昨年実施した第4回SDD全国こども書道コンクールでは、小樽市内の中学生の作品が北海道・東北地区の最優秀賞を受賞したこともあって、市内に書道ブームが起きたほどで、郵便局の赤い配達車やバイクなど全ての車両に貼られた書道メッセージが、沿道の市民の目を引いていました。このほか、道警音楽隊の演奏や、交通安全を呼びかけるうちわを持ったかわいらしい保育園児も参加し、交通安全の訴えを盛り上げました。

(JD共済は書道作品データ提供により参加協力)



全国一斉に始まった交通安全運動期間には、各地の行政や関係団体、運転代行業界から、子どもたちの書道作品に関連したさまざまな協力依頼がありました。例えば作品展示やおためし書道であったり、啓発ポスター・チラシの素材としてや、車両表示用ステッカーとしてなど、形は様々ですが、いずれも、子どもたちが筆に込めた願いが、ご覧になる方の胸にずっしりと響く啓発活動として活用されています。

飲酒運転させない環境づくりは、飲酒運転が「**ゼロ**」になるまで訴え続けなければならない——これは、すべてのひとの願いです。飲酒運転根絶の担い手として、**地域にとって無くてはならない大切な交通サービス、「地域のハンドルキーパー」である「運転代行」は、業界全体で飲酒運転根絶に取り組み**、「飲酒運転のない未来」を子どもたちに繋いでいかなければなりません。運転代行業に従事する方々には、交通安全運動期間に限らず、**交通サービスに従事する身として、飲酒運転根絶の最前線事業に関わる業界として**、これからも積極的に啓発に参加して、もっと「飲んだら運転代行」を定着させていただければと思います。

そして、JD共済は、日々の業務を通じてはもとより、全国こども書道コンクールを通して、組合員の皆さんの事業を応援し続けます。



【実施概要】「飲酒運転撲滅」をテーマに全国の子どもたちから書道作品を募集。

【募集対象】日本国内在住の小学生・中学生

【入賞特典】4地区での審査の後、各地区の最優秀賞受賞者は、「LIVE SDD 2018」に親子でご招待。

作品に込めた思いを発表し、グランドフィナーレでは書道パフォーマンスに参加することができます。

主催



×



後援

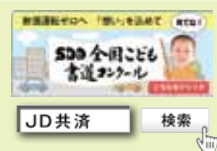
北海道 北海道教育委員会 北海道警察 札幌市 札幌市教育委員会 小樽市 小樽警察署 札幌方面北警察署 砂川警察署 青森県 青森県警察 岩手県 岩手県警察 宮城県 宮城県警察 気仙沼市 秋田県 山形県 山形県教育委員会 山形県警察 福島県 福島県警察本部 茨城県 茨城県警察 栃木県 栃木県警察 群馬県 群馬県警察 埼玉県 埼玉県警察 千葉県 千葉県警察 東京都 警視庁交通部 神奈川県 神奈川県警察 新潟県 新潟県警察 富山県 富山県警察 福井県 山梨県 山梨県警察 長野県 長野県警察 岐阜県 岐阜県警察 静岡県 静岡県警察 愛知県 愛知県警察 三重県 三重県教育委員会 三重県警察 滋賀県 滋賀県警察 守山市 滋賀県守山警察署 守山市教育委員会 野州市 京都府 京都府警察 大阪府 大阪府 堺市 大阪府警察 兵庫県 兵庫県警察 神戸市 奈良県 奈良県教育委員会 奈良県警察 橿原市教育委員会 和歌山県 和歌山県警察 鳥取県 鳥取県教育委員会 鳥取県警察 島根県 島根県警察 岡山県 岡山県警察 岡山県教育委員会 広島県 広島県警察 広島市 東広島市 山口県 山口県警察 徳島県 徳島県警察 愛媛県 愛媛県警察 高知県 高知県教育委員会 高知県警察 福岡県 福岡県警察 福岡市 粕屋町 佐賀県 佐賀県警察 長崎県 長崎県警察 熊本県 熊本県警察 熊本市 大分県 大分県警察 宮崎県 宮崎県警察 鹿児島県 鹿児島県警察 沖縄県 沖縄県警察 一般財団法人全日本交通安全協会 一般社団法人全日本指定自動車教習所協会連合会 株式会社東京交通新聞社 一般社団法人日本自動車連盟(JAF) 全国飲食業生活衛生同業組合連合会 公益社団法人全国運転代行協会《順不同》

飲酒運転撲滅を目指したSDDプロジェクトとの共催で、今年も「SDD全国こども書道コンクール」を開催する運びとなりました。第6回を迎える今回も、全国各地から数多くのご後援をいただきましたこと大変感謝しております。

JD共済のホームページに、「SDD全国こども書道コンクール」のコーナーを開設しています。

応募規定等は、JD共済HPのトップページの右画像のアイコンをクリックしてください。

(このコーナーからは過去の受賞作品もご覧になれます)



～飲酒運転^{ゼロ}への願い～

全国で飲酒運転撲滅に対する意識が向上してきていますが、残念ながら未だに飲酒運転による悲惨な事故が無くなっていないのが現実です。飲酒運転は一度事故を起こせば人の命を奪うだけではなく、被害にあった方やその家族、子どもの**未来までを闇の中に**追いやってしまう重罪になりえます。**軽い**気持ちで運転したことで一生**重い罪**を償わなければならないこと、また自分の家族の未来も、闇の中に包まれてしまうことも忘れてはいけません。

多くの悲しみを生み出す飲酒運転という犯罪を^{ゼロ}にするために、運転代行が果たす役割は計り知れません。まさに『地域に無くてはならない交通サービス』と言えます。

私たちは、「**運転代行業界が担う役割**」と「**SDDプロジェクトの意義**」は、「**飲酒運転を^{ゼロ}にすること**」という**共通する願いが根底にある**と考えています。SDDプロジェクトにサポートパートナーとして参画することは、とりもなおさず、無くてはならない交通サービスである運転代行業界の発展に寄与することになるからです。運転代行を専門に補償するJD共済だからこそできる「SDD全国こども書道コンクール」は今年で6回目を数えます。毎年数多くの作品が寄せられ、その総数は7,423作品になりました。子どもたちの目線で「書」を通して伝えられる力強いメッセージは、全国各地で開催される飲酒運転根絶イベントの中で、書道展として社会に発信され、大人たちの心を動かしています。

JD共済は飲酒運転が^{ゼロ}(**死語**)になることと、運転代行業界の発展を心から祈っています。



Official photo (LIVE SDD 2017)

書道作品活用事例(全国の一例)

《広島県警察のHPに掲載》



広島県警察ホームページのトップページに、飲酒運転根絶を訴えるコーナーが設けられ、書道作品が啓発素材として活用

《釧路市役所での書道作品展》



7月10日～20日まで、北海道釧路市役所ロビーにおいて実施された、釧路警察署主催の交通安全キャンペーンの一環として展示(昨年に引き続き2回目)

《沖縄県と浦添市の「秋の全国交通安全運動」》

今年の「秋の全国交通安全運動期間」の啓発ポスター・チラシの素材として活用

今回のスローガン

「軽い気持ちに 反して下る 重い罰」



沖縄県：秋の全国交通安全運動啓発ポスターとチラシ(チラシ裏面には、県内の交通事故発生統計が掲載されています)



沖縄県浦添市：秋の全国交通安全運動啓発チラシ

《2018年度版オリジナルカレンダー》 表紙のデザイン



裏表紙のデザイン



あなたの随伴車両の自動車保険は大丈夫ですか?の巻

▲▲代行の代表者Aさんは、平成28年10月に「標準自動車運転代行業約款」に「随伴車両は自動車保険に加入すること」と追記されたのを機に、〇〇保険会社で自動車保険に加入することにしました。



代表者Aさん

1

【補償内容】

業務使用 運転者限定なし
(ただし、26歳以上に限る)
対人賠償:無制限
対物賠償:無制限

ある夜、業務中に、従業員が運転する随伴車が、急停止した客車に追突してしまいました。Aさんは、お客さんにケガがないと聞いてホッとするとともに、「客車の損傷は随伴車の保険で補償されるだろう」と思っていました。



2

が、しかし

翌朝、Aさんは〇〇保険会社に事故の報告をしたところ、客車の損害については、対物賠償では補償されないとされました。

〇〇保険会社



3

???



4

私ども〇〇保険会社では、お客様のお車を「管理下財物」とみなし、対物賠償責任保険では補償いたしません。

【運転代行業における管理下財物とは】
運賃・荷役料等の対価を受け取り、運送または荷役のために受託している財物、つまり客車のことをいいます。



随伴車が客車に追突した場合、多くの保険会社では、客車を「**管理下財物**」とするため、**対物賠償責任保険で補償されないことがあると聞いています。**

「運転代行業務中に随伴車が客車に追突した場合、補償されるかどうか」について、現在ご契約の保険会社に確認されることをおすすめします。

「もっと保険料を安くできないか」、「万が一の事故時にしっかりと補償されるのか」等のお悩みがありましたら、お気軽にJD共済保険部にご相談ください。

JD共済保険部

〒939-8072 富山県富山市堀川町278 TEL:076-405-6158

(受付時間) 平日:午前10時から午後5時まで(祝日・年末年始はお休みとさせていただきます)



いろいろ

JD共済は飲酒運転根絶の担い手である「運転代行業」を応援する共済団体として、社会貢献と運転代行業の繁栄を願って、今年も「第6回SDD全国こども書道コンクール」を開催いたします。全国の小・中学生から「お酒を飲んだら代行頼んで」、「代行で笑顔の安心帰宅」など、『車で飲酒したら運転代行を呼ぶことが当たり前』になってきたと思える、うれしいメッセージも多数寄せられるようになり、社会が、「飲酒運転を無くすためには、運転代行という仕事が必要なのだ」ということを再認識し始めていると実感しています。そんな作品を目にすると、わたしたちJD共済も、飲酒運転根絶の担い手として、地域に欠かせない交通サービスを提供されている組合員の皆様を、とても誇らしく思います。

応募された作品の尊いメッセージは、JD共済カレンダーやオリジナルうちわ、ポスターなどに活用されます。

もしかしたら、皆さんのお子さんやお孫さん、お知り合いのお子さんの作品が、翌年のJDカレンダーを彩るかもしれません。また、全国の交通安全週間や県民大会での書道作品展にも「作品の貸出し」を行っています。組合員の皆様も、地元で行われるグルメイベントや、自治体、警察と連携した啓発活動に、ぜひご活用ください。

作品貸出しは無料です。詳しくはJD共済 事業推進部(TEL:076-405-6166)までご連絡を!(受付:平日10時から17時)

今年はどんな作品に出会えるでしょうか。どうぞお楽しみに。

ご注意

随伴用車両は走る広告塔です。運転は会社の品格を表します。

最近、JD共済の黄色いステッカーを貼った随伴車の交通マナーについて、事務局に、一般ドライバーの方々からの苦情が多く寄せられています。ステッカーは、代行を利用されるお客様の**安心の目印**にさせていただくためにお送りしているもので、「**交通違反**」や、特に「**ごみの投げ捨て**」など、一人のドライバーの、心無い行為によって、悪い目印になっては代行業界全体のイメージがダウンしてしまいます。ステッカーだけでなく、**義務付けられている随伴用車両の表示**も、同業者だけでなく、一般ドライバーや歩行者の方々からも**見られている自覚**を持ちましょう。